



がんばろう福島

～ Voices from Fukushima ～



当協会HP をご覧ください。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から 4 年 4 ヶ月が経ちました。福島県は、広野町の「ふたば未来学園高校」開校やいわき市で「太平洋・島サミット」が開催されるなどの新たな明るい話題が増える一方、原発事故後の問題が今も多く残っており、徐々に帰還が進みつつあるものの、5 月末現在で 11 万人以上の方が避難生活を強いられています。

(公財) 福島県国際交流協会では、震災直後より当協会広報紙「Gyro (ジャイロ)」の震災復興版として「がんばろう福島」を発行しており、福島県の現状や県内の国際交流・協力団体の活動、外国出身県民の声などを紹介しています。

※本紙の翻訳版は、当協会 HP からダウンロードできます。

福島の風景

「ふくしまデスティネーションキャンペーン (ふくしま DC)」の開催

4 月から 6 月の 3 ヶ月間、福島県は JR グループと、自治体、観光事業者などと連携し、「ふくしまデスティネーションキャンペーン (ふくしま DC)」を開催しました。「福が満開、福のしま。」のキャッチコピーのもと、県内各地でさまざまなイベントが行われ、自然や食、歴史・文化などの魅力をアピールしました。



白水阿弥陀堂のライトアップ



ゲレンデの現れた天の川のイルミネーション

キャンペーン期間中は、秋季の伝統行事の披露や体験型イベント、グルメなどの特別企画も実施されました。そのひとつとして、いわき市の白水阿弥陀堂では、4 月 25 日～5 月 24 日の期間、新緑の時期には珍しいライトアップイベントが開催され、幻想的な光の世界が創られました。また、二本松市のあだたら高原スキー場では、5 月 16 日～6 月 7 日の期間にイルミネーションが実施され、スキー場の斜面に沿って天の川が作り出され、豪華な彩りを写真におさめる観光客の姿が見られました。

外国人旅行者向け消費税免税店オープン

会津若松市では、会津鶴ヶ城売店や鶴ヶ城会館、会津武家屋敷などの観光施設で、外国人旅行者に消費税を免税する取り組みを始めました。地酒、漆器、扇子などのお土産や消耗品などすべての販売品について、外国人旅行者は一定額以上の買い物をした場合、消費税なしで購入することができます。今回の取り組みで、震災や原発事故の影響で減少した外国人観光客が戻ることを期待されます。



鶴ヶ城会館の店内の様子



読み聞かせに挑戦した小学生

外国にルーツを持つ子どものための宿泊交流

6 月 27 日 (土)・28 日 (日) の 2 日間、蓬萊日本語教室主催による「多文化キッズキャンプ福島 2015」が国立磐梯青少年交流の家にて行われました。外国にルーツを持つ子どもとその保護者を対象とした宿泊交流会で、参加した子どもたちは勉強やスポーツ、ゲームなどのレクリエーションを楽しみました。保護者の皆さんは子どもの学校生活や進路についての情報交換もしました。また、日本語ボランティアや外国出身の保護者による多言語での絵本読み聞かせも行われ、子どもたちも読み聞かせに挑戦しました。

後藤 麗華さん（福島市在住 中国出身）

先日、日本人と外国人がどう共生していくべきか話し合う場があり、講師を務めました。私は日本で暮らしていくならば、日本語の習得は不可欠だと思っています。家族や日本人の友人とのコミュニケーションはもちろん、子どもの成長や教育に真剣に向き合いたいし、言葉が通じないと日々の生活が明るくならないからです。もともと私は情報収集が下手で、震災後は正しい情報を把握するのに苦労しました。今はWechatやLINEなどのSNSを使い、中国出身の友人とも気軽に連絡を取り合うことができるようになり、日々のちょっとしたストレスも軽減されています。



ファイサル ブリディ アルマンシャさん（福島市在住 インドネシア出身）

2012年11月に技能実習生として福島市にきました。今年の秋まで約3年間、建設機械施工や溶接などの技術を習得しています。2004年に発生したスマトラ島沖地震を経験し、当時自分自身や家族、通っていた高校に被害はなかったですが、大規模な災害が急に起こる恐怖を知り、常に防災の意識を持つようになりました。福島での暮らしの中でも何度か大きい地震に遭遇しましたが、その度に、避難場所はどこなのか、身を守るために何をすべきかなど冷静に判断するようにしています。また、情報をきちんと得ることができるよう、災害に関する日本語も覚えています。



佐々木 マリセルさん（福島市在住 フィリピン出身）

高校生の娘と中学生と小学生の息子がいます。子どもたちそれぞれの生活時間帯が異なり、私自身も仕事をしているので、毎日慌ただしいです。震災後に来日したため、東日本大震災や原発事故当時の大変さはわかりませんが、子どもの健康に関することは常に気に留めています。

休日は、外国出身者が集うアクティビティに積極的に参加するようにしています。同じく外国出身である皆さんと話をすると、日本で生活する上で参考になることがたくさんあります。



福島県内各地の環境放射能測定値（暫定値）

出典：福島県庁ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/>

福島県ホームページでは、県内各地の環境放射能測定値（暫定値）を発表しており、（公財）福島県国際交流協会ホームページでは、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、韓国語にて更新しています。

単位：マイクロシーベルト/時間

日時	福島市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市
（平常値）	0.04	0.04-0.06	0.04-0.05	0.04-0.05	0.02-0.04	0.05	0.05-0.06
2015.6.30 9:00	0.21	0.12	0.09	0.06	0.04	0.10	0.06
測定装置	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP
福島第一原発からの方向及び距離	北西 約 63km	西 約 58km	西南西 約 81km	西 約 98km	西南西 約 115km	北 約 24km	南南西 約 43km

※測定地点は、福島市は県北保健福祉事務所南側広場、郡山市は郡山合同庁舎東側駐車場、その他の市町は各合同庁舎の駐車場です。

※平常値は、県内の平成21年度放射線レベル調査結果です。

お知らせ

○外国出身者のための生活相談窓口のご案内

当協会では、外国出身の方々のために外国語で生活相談に応じています。

●英語・中国語・日本語 毎週火曜日～土曜日 9:00～17:15

●韓国語・タガログ語・ポルトガル語 木曜日 10:00～14:00

※第4・5木曜日は事前予約が必要です。

電話：024-524-1316（専用） E-mail：ask@worldvillage.org（専用）

発行者

（公財）福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1
福島県庁舟場町分館 2階

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>